

「善意、有意義に使って」

歳末たすけあい運動見舞金、施設に贈る



長谷川会長から見舞金を受け取る施設の代表ら

室蘭・共同募金委

室蘭市共同募金委員会（長谷川清敏会長）は17日、歳末たすけあい運動の見舞金を、市内の児童福祉施設や障害者就労サービス事業所計17施設の利用者合わせて491人に贈った。（野村英史）

東町の市社会福祉協議会で贈呈式があり、長谷川会

長は「コロナ禍で市民演芸大会の入場券の売り上げ募金がなくなり、街頭募金もできず見舞金への影響を危惧していたが、例年とは形を変えて市民の大きな善意が集まった。有意義に使ってほしい」とあいさつ。出席した8施設の代表に現金を手渡した。新型コロナウイルス

イルスの感染対策のため、出席者を代表のみに絞った。見舞金は17施設のほか、生活困窮の87世帯と、里子や市外の障害者施設を利用する86人にも贈る。金額は1人1世帯当たり5千円。見舞金の総額は332万円。